

2024年度  
街づくり委員会

241219

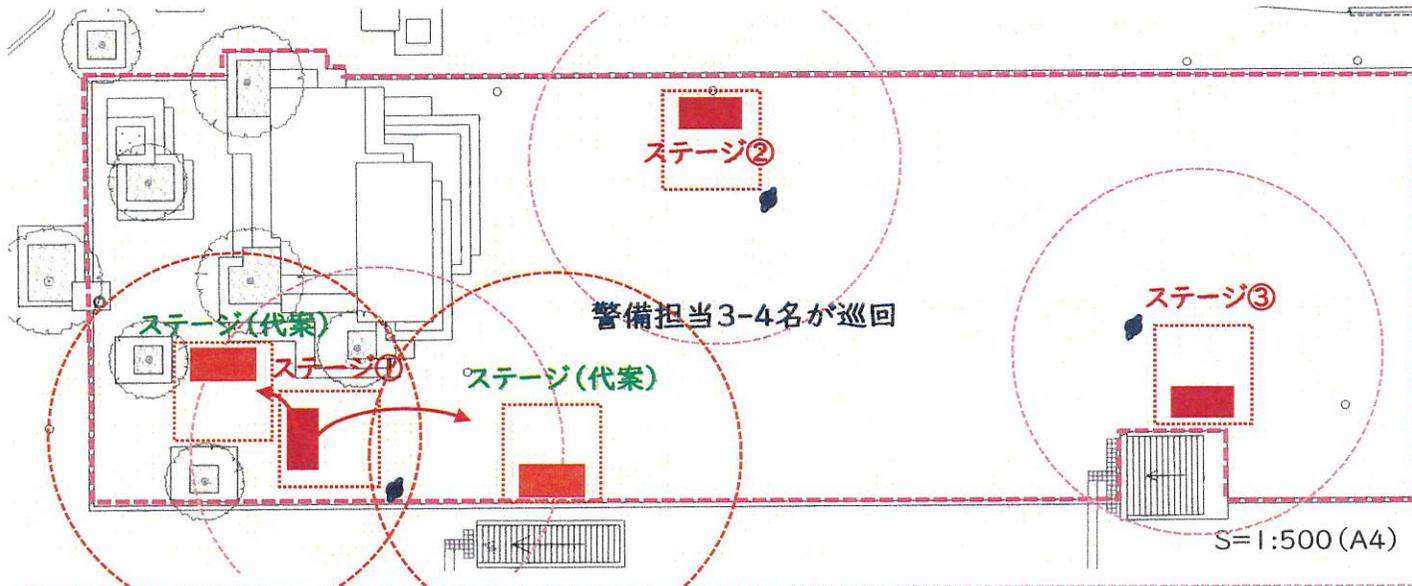
イベント概要について

イベントイメージ

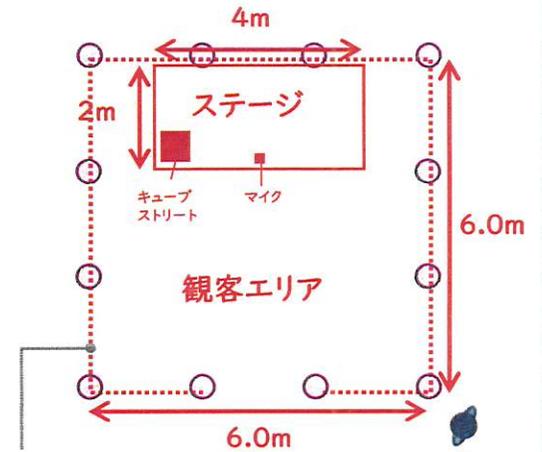


イベント開催にあたってのルール

- ・ アーティストのジャンル → キューブ1つ持込で演奏可能なアーティストのみ
- ・ 音量・ボリューム → 広場境界で70dB
- ・ 音響機材の種類 → キューブストリート1個に限定
- ・ 機材の搬入方法 → アーティストによる持ち込み
- ・ PR方法 → イベント開催2週間前からアーティストのTwitterで告知
- ・ 投げ銭・物販 → 投げ銭なし、物販あり



各ステージの詳細図(仮)



警備体制

パイロン・バーで区画。  
区域内でパフォーマンスを観るよう、警備スタッフによる声掛け及び、パフォーマー自ら演技中に複数回誘導。

各ステージに警備スタッフを1人配置。

ステージ①~③の3か所で同時開催

ステージ①



ステージ②

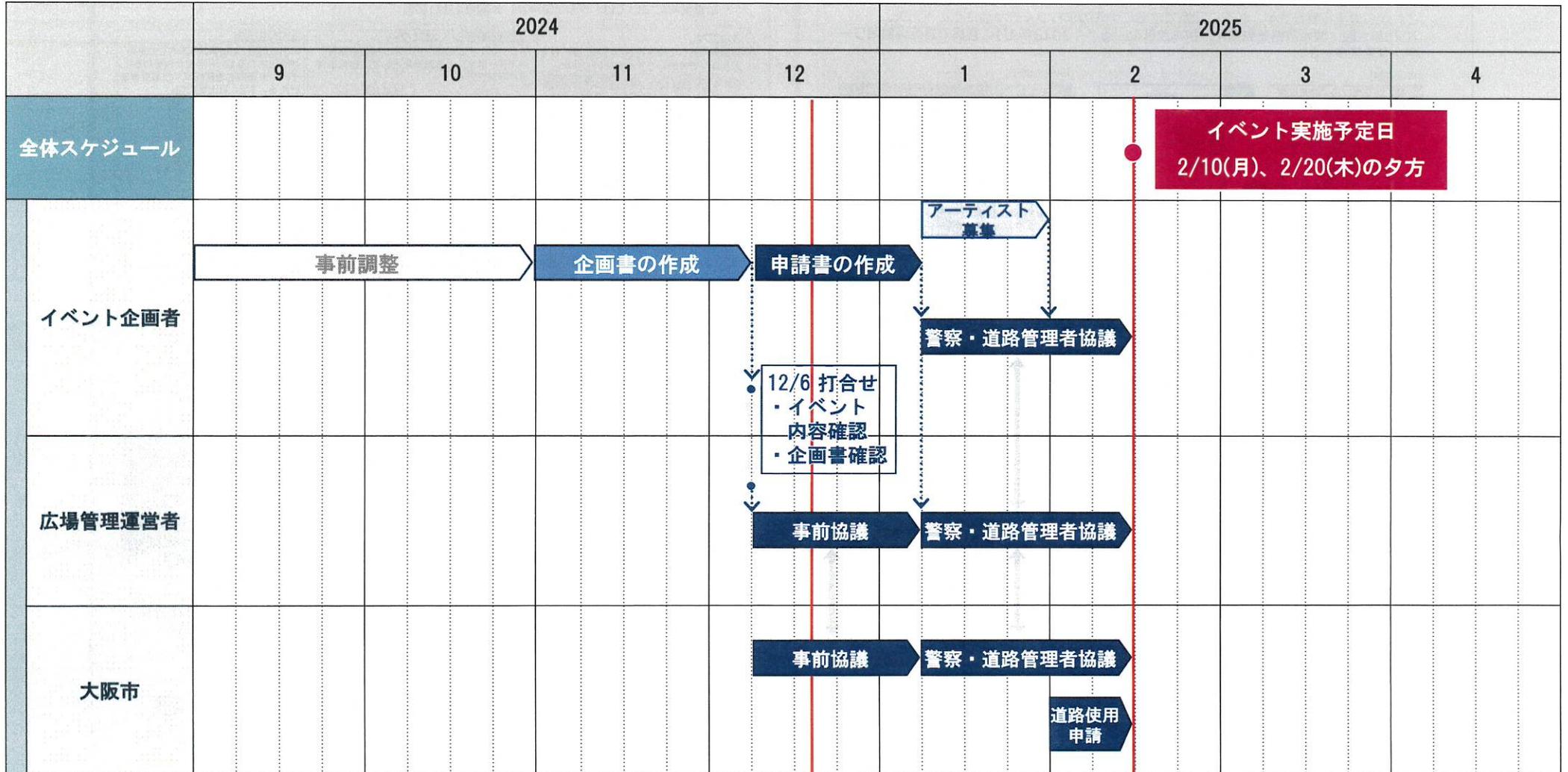


ステージ③



実施スケジュールとこれまでの取組整理

- ・ ミナミまち育てネットワークがイベントの実施主体となる形で調整中。
- ・ 元々は、なんば広場マネジメント法人設立準備委員会（以下準備委員会）が、なんばひろばのスポット利用（イベント予約がない時間帯の日常利用）を検討していた。警察より、スポット利用の際もイベントを管理する者がなんばひろばに常駐することを求められており、準備委員会ではスポット利用のハードルが高いと認識しているようである。



今年度の取組内容と今後の方針をまとめた報道向け資料を、大阪市が中心に作成中。

～ミナミの積年の課題解決へ～ 24/11/26CFK 未定稿

## 放置自転車対策ワーキンググループ取り組み報告

◆ミナミの放置自転車WGの歩み（2023年～）  
これからは歩行者が安全、快適に回遊できるミナミのまちづくりが活性化に不可欠。2025年大阪・関西万博を見据え、抜本改善を図るべく2023年4月に官民で自転車対策ワーキングをスタート。

[WG体制]

民	地元商店街・地元企業 エリマキ組織	官	大阪市
<ul style="list-style-type: none"> <li>ミナミまち育てネットワーク（街づくり委員会）</li> <li>なんば安心安全にぎわいのまちづくり協議会</li> <li>成徳商店街振興組合</li> <li>なんば大通り商店会</li> <li>（株）丸井 なんばマルイ</li> <li>南海電気鉄道(株)</li> <li>御堂筋沿道・道頓堀以南区間整備協議会</li> <li>（一社）ミナミ御堂筋の会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>建設局</li> <li>道路空間再編担当</li> <li>自転車対策担当</li> <li>市街工務局</li> <li>中央区役所</li> </ul>	

[WGの様子]

◆現在の自転車対策ワーキングの取組方針と実施内容  
『撤去』『調査・分析』『啓発』を自転車対策ワーキングの「3本柱」として推進

発生要因を把握した上で対策を試み、その効果を検証し施策につなげていく

<p><b>撤去の効果的な運用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアルタイム撤去の継続的な実施</li> <li>集中(連日)撤去の実施</li> <li>撤去保管料の増額</li> </ul>	<p><b>放置自転車の実態調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアルタイム撤去開始から半年以上経過した時点での実態把握</li> <li>撤去と啓発の効果検証</li> </ul>	<p><b>市民・商店の協力と啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場利用の促進</li> <li>附置義務の遵守</li> <li>調査結果の公表</li> </ul>
--	---	--

効果や発生要因を分析

さらなる効果的な方策	新しい仕組みの検討	啓発活動の新しい展開
------------	-----------	------------

◆2024年度の取組スケジュール

	23年11月	12月	24年7月	8月	9月	10月	11月
撤去開始前調査	実施						
撤去開始後調査		実施					
調査1：撤去・大規模啓発前放置自転車全数調査			実施				
調査2：撤去・大規模啓発後放置自転車全数調査					実施		

### ◆2024年度の取組内容

#### 市民・商店の協力と啓発

◆官民連携で行動変容キャンペーンへの取組

- 自転車WGにて、各対象者の特性に合わせた、行動変容を促す媒体戦略を、交通心理学の知見を取り入れ検討・作成し、地域連携で啓発を実施。
- 記者説明については、テレビ局4社、新聞社1社が報道。

①エフ札  
放置者に対して横を通る歩行者に見られて、恥ずかしさを感じさせるねらいで作成。

②啓発チラシ・ポスター  
チラシはミナミの商店街や事業所の事業者、ポスターは学生の放置対策として、自転車利用の抑制を図る。

③SNS広告  
ミナミ周辺2km圏の自転車での来街が想定される10～40代女性を対象に、イベント告知と放置抑制、行動変容を訴える。3万人以上が閲覧。

④区広報(中央区・西区)  
周辺住民に対し、ミナミにおけるキャンペーンを告知。

⑤折込チラシ  
買い物等で自転車を使う人に対し、イベント告知と併せて放置抑制、行動変容を訴えるため、中央区・西区・浪速区の5紙で5万部を配布。

◆ミナミの放置自転車対策の取組紹介と行動変容の促進、交通ルールや青切符制度(法令改正)について、ミナミの来街者、各マスコミを通じた周知を行うことを目的として、なんば広場にてアルケル・イケルイベントを開催。

◆クイズ回答者は340名以上など、参加者多数であった。

#### 放置自転車の実態調査

**調査：撤去・大規模啓発前後の全数調査**

■全体の傾向

- 合計台数は、7・8月調査時よりも微増傾向(平日：△5%、休日：△8%)だが、駐輪場利用台数も増加。
- 商店街の歩行者数と比較すると、自転車総数の増加率は7%少ない(休日：歩行者△15%>自転車△8%)。
- ⇒駐輪場利用・行動変容を促す啓発の効果が見られた。 ※ミナミエリアの来街者増の示し方を検討中

調査日	平日	休日
2023年 12/1	4,911	3,848
2023年 12/18	4,479	3,728
2024年 1/24	4,478	3,567
2024年 10/9	4,962	2,763
2024年 11/5	5,309	3,333
2024年 12/3	4,932	3,023
2024年 12/17	4,974	3,101
2024年 8/3	5,110	3,179
2024年 10/12	5,297	3,356

比較: 2024/8/3 (平日) 60,146 (15%増) vs 2024/10/12 (平日) 5,844 (8%増)

今年度の取組内容と今後の方針をまとめた報道向け資料を、大阪市が中心に作成中。

### ■平日の調査結果

- 集中撤去の実施から1か月以上経過後も、撤去箇所の台数は減少傾向で、効果は持続している。ただし撤去箇所以外では増加している箇所も見られる。
- 自転車総数は増加しているものの、駐輪場利用台数も増加。（平日：7/24→10/9【△301】）

### ■休日の調査結果

- 平日同様、集中撤去箇所の効果は持続している。
- 自転車総数は微増。駐輪場利用台数はほぼ横ばい。

### 休日18時台の放置状況の変化

### 平日18時台の駐輪場利用状況

※自転車総数ピーク時

駐輪場設置台数	2,039台	全体の55%
駐輪場利用台数	2,476台	全体の61%
利用された駐輪場	6%	増加

大規模商業施設	駐輪場設置台数	1,780台	全体の61%
大規模商業施設	駐輪場利用台数	2,476台	全体の39%
大規模商業施設	放置自転車台数	4,395台	全体の61%
大規模商業施設	放置自転車台数	3,926台	全体の61%

駐輪場利用が約300台増

### ◆今後の自転車WGの取り組みについて

- 自転車総数4割減の目標に対して、(ほぼ変わらず)。
- 特に夜間・休日の台数が減少していない。平日は駐輪場利用啓発や撤去などの効果が一定程度見られた。
- ⇒これまで撤去が実施できていない時間帯の対策として、民間委託して夜間・休日撤去を実施予定。
- 撤去箇所や時間帯について、官民で情報共有して効果的に推進。
- 減少傾向にある昼間については、これまでの撤去と啓発の取組を継続的に実施。

自転車総数約5,400台のうち放置自転車約3,400台

万博開催中に自転車総数40%減!

	24年11月	12月	24年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
大イベント						万博開催						
ミナミ対策WGの取組	継続的な啓発活動											
			ミナミ対策WGの開催									
						官民の情報共有						
行政の取組						夜間・休日の撤去開始						
	工室による放置自転車撤去(リアルタイム撤去、トラック台数増)											

4

### ◆今後の自転車WGの取り組みについて

自転車対策WGの3本柱

撤去の効果的な運用	放置自転車の調査・分析	市民・商店の協力と啓発
-----------	-------------	-------------

2024年 7月～10月

施策の効果検証を実施

施策	効果検証	施策
<p>①道頓堀以南のミナミで約300台/月の撤去 ※昨年度より○台増加</p> <p>②リアルタイム撤去の継続実施</p> <p>③9月には2箇所集中撤去</p>	<p>①集中撤去の効果が1か月以上持続したが、撤去箇所以外では増加している場所もある。</p> <p>②自転車総数は増加。</p> <p>③撤去の無い夕方以降や休日は駐輪場利用が少ない。</p>	<p>①大規模啓発物の作成・配布(エフ札は捨てられにくかった)</p> <p>②自転車啓発イベントの開催(340人以上が参加)</p> <p>③取組をメディア4社が報道</p>
課題	課題	課題
<p>①撤去体制の強化</p> <p>②日時を変動させて撤去できる仕組みの構築</p>	<p>①集中撤去箇所拡大</p> <p>②時間帯・対象者別の駐輪場利用啓発の継続強化</p> <p>③休日・夜間の撤去</p> <p>④継続的な調査・検証</p>	<p>①店舗従業員の駐輪場利用促進</p> <p>②エフ札の改良による啓発効果向上</p> <p>③官民連携での啓発活動の継続的な実施とPR</p>

今後の取り組み

令和6年度中に具体化し、令和7年度(万博年)に実行

### 持続可能な繁華街ミナミ ～ウォーカブルエリア宣言へ～

#### ■検証の総括

- 市民の「自転車から徒歩へ」の行動変容の兆しが見られた。
- ミナミはなんば広場や商店街等、「自転車押し歩き」が必要な道路がほとんどである。

#### ■今後の方向性

- 「歩いて楽しい、ウォーカブルなまちづくりのため、「ミナミには歩いてきてもらう」ことを大前提としつつ、自転車を利用する必要がある来街者には駐輪場を適切な利用を推進

#### ■具体的な取組

- 自転車対策WGの3本柱の取組万博時に試行

さらなる効果的な方策	新しい仕組みの検討	啓発活動の新しい展開
<ul style="list-style-type: none"> <li>撤去輸送の拡充</li> <li>効果的な撤去に向けた官民の情報共有</li> <li>夜間・休日撤去との情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場の効率的運営検討</li> <li>撤去～保管の仕組み検討</li> <li>継続的な効果検証とFB</li> <li>自転車啓発の仲間集め</li> <li>ロボットの活用による啓発の試行(万博中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動変容にむけたPR</li> <li>お借りの地域どうしや市内の他箇所と連携</li> <li>各種メディアでの周知</li> <li>アンバサダーの起用による大規模PR</li> </ul>

万博に合わせた試験的取組も

楽しく、様々な人のエフ札利用を促す

SNSも活用し、取組の共有を促す

大阪市の公募型プロポーザルで、「アーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体」が選定される。

放置自転車等総合対策業務委託に係る  
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1. 案件名称  
放置自転車等総合対策業務委託
2. 選定した委託予定事業者  
アーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体

(6) 選定結果

キタ・ミナミエリアにおける通行環境の改善を目的として、平日及び休日の毎日夕方から夜間における放置自転車等の啓発・撤去及び市民対応をはじめとした抜本的な放置自転車等対策について提案を募集したところ、提案者は3者であった。

審査の結果、臨機応変かつ機動力を生かした啓発撤去体制や自社開発したシステムを導入することで省力化・効率化が図られる等といったアーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体の提案が選定委員の評価点の平均点が最も高く、かつ60点以上であることから同共同企業体を本事業の委託予定者として選定する。

次回以降の自転車WGにて、取組内容を紹介予定

(3) 審査基準

評価項目	評価の着眼点	配点
業務目的及び内容の理解度	・本業務全体の考え方において、キタ・ミナミエリアにおける放置自転車の現状と課題、本業務の目的等を十分に理解し、提案がなされているか。	10
業務計画	・提案内容は <u>放置自転車の削減効果の高い計画の検討・策定が期待できるものとなっているか。</u> ・ <u>放置自転車等の特性分析や交通阻害状況のモニタリング、動態調査、効果測定手法などに民間事業者ならではのノウハウや柔軟な発想・企画力が効果的に活かされ、特筆すべき提案内容となっているか。</u>	40
啓発・撤去業務	・業務の実施体制は、責任者及び人員、配車が適正に配置され、業務計画を確実に実施することが可能な提案内容となっているか。 ・撤去業務における工程を誤り無く適切に実施することが可能な提案内容となっているか。 ・業務の実施にあたり、想定される課題とそれに対する対策を適切に提案されているか。	30
利用者対応	・撤去作業中の対応は責任をもった対応となっているか。 ・コールセンターは責任者及び人員等が適正に配置され、24時間の問い合わせへの対応を確実に実行できる体制となっているか。	10
ICT技術の活用	・撤去作業の遠隔確認や状況把握、協議等を民間事業者のノウハウによるICT技術を活用し、遠隔地にいる市職員とリモート接続により効率的かつ効果的が行えるものであるか。 ・ICT技術の活用により業務の効率化・省力化が図れる提案となっているか。	10
合計		100

→フジカ・アーキエムズは94.67点

想定	訓練日程	情報発信責任者および 副責任者	市危機管理室	メディア・施設運営者
地震発生	14:00	地震発生		
発生後 約10分	14:00-14:05	<b>『災害発生モード』への切替要件の確認</b> <input type="checkbox"/> 『震度4以上』かつ『津波発生予測がない』 J-RISQ地震速報 にて確認 <input type="checkbox"/> 『電源供給が継続』 停電情報   関西電力送配電株式会社 にて確認 <input type="checkbox"/> 『対象メディアの稼働確認と切替了承』 ← @LINE-WORKS → メディア運営者に放映切替可否を確認 責任者→副責任者に切替判断報告 @LINE WORKS		<input type="checkbox"/> メディア切替可否を返信 ・なんば広場観光案内所 ・RIBIAビジョン
	14:05	『災害発生モード』へ切替		
	14:05-14:30	Playlist 1 (150秒) 放映		
発生後 約1時間	14:05-14:30	<b>「帰宅抑制モード」への切替要件の確認</b> <input type="checkbox"/> 主要通勤路線が『当面の運行再開見込みなし』 南海/近鉄/阪神のいずれか <input type="checkbox"/> 市危機管理室への確認 ← @LINE-WORKS → 【移動およびまち状況調査】 ・移動：難波→アメリカ村/約20分 ・まちの状況X投稿：なんば広場/戎橋筋/とんぼり等	<input type="checkbox"/> 一斉帰宅抑制の放映可否を返信	
	14:30	『帰宅抑制モード』へ切替		
	14:30-14:40	Playlist 2 (約300秒) 放映		
日没 約2時間前	14:30-14:40	<b>「帰宅困難者支援モード」への切替要件の確認</b> <input type="checkbox"/> 市危機管理室からの開設要請 ← @LINE-WORKS →	<input type="checkbox"/> 一時滞在施設の開設要請 ←	<input type="checkbox"/> 一時滞在施設開設要請の了承
	今回見送り	<input type="checkbox"/> 一時滞在施設開設状況の確認 ← (今回訓練では見送り) →		<input type="checkbox"/> 一時滞在施設開設状況を報告
	14:40	『帰宅困難者支援モード』へ切替		
	14:40-14:45	Playlist 3 ( ____ 秒) 放映		
3日後	今回見送り	<b>「帰宅困難者支援モード」への切替要件の確認</b> <input type="checkbox"/> 市危機管理室からの支援要請 ← (今回訓練では見送り) →	<input type="checkbox"/> 帰宅支援要請	
	14:45	Phase 4 帰宅支援モードへ切替		
	14:45-14:50	Playlist 4 ( ____ 秒) 放映		
	14:50	『災害情報発信の取り止め』への復帰		<input type="checkbox"/> 通常放映への復帰

プレイリスト1ターン構成案 → S:スタート画面 ★:繰り返し2 or 3回転 E:エンド

Phase 1  
災害発生

Phase 2  
帰宅抑制

Phase 3  
帰宅困難者  
支援

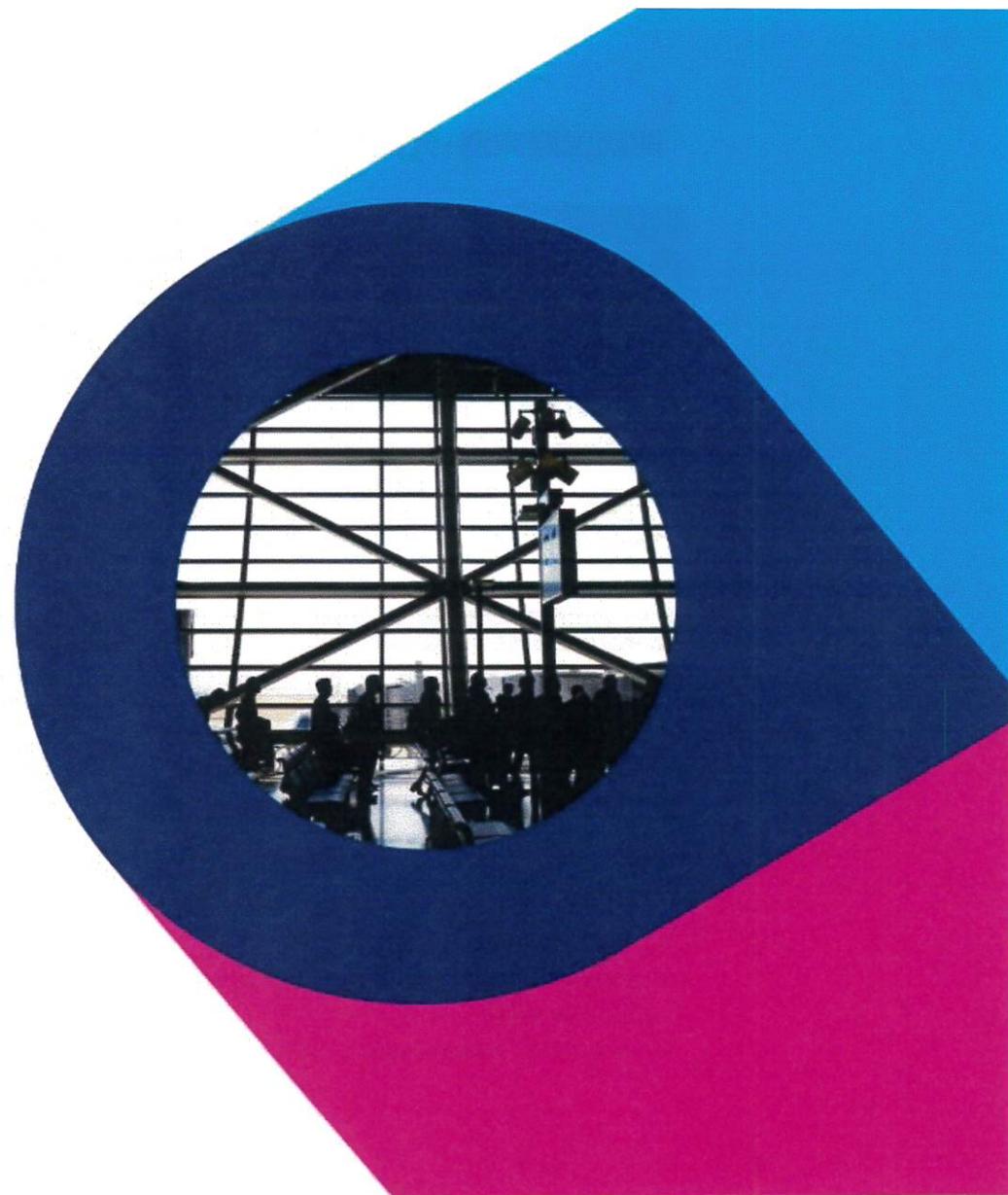
Phase 4  
帰宅支援

ページタイトル ※赤はタイトル見直し	実装	実証	目的/情報内容	アラート	コンテンツ		プレイリスト				尺	備考/協議先
					ナレ	言語	災害発生	帰宅抑制	帰宅困難	帰宅支援		
冒頭 災害対策訓練放映		○		警告音	○	日英	● S	● S	● S	● S	5秒	※要英語表記
1-1 地震情報	○		<b>災害情報の速報案内</b> 震源、深さ、M、震度、津波	警告音	×	日のみ	★				15秒	
1-2 大阪防災アプリ	○		<b>災害情報入手方法の案内/誘導</b> ・大阪市防災アプリ/QR	注意音	○	日英	★	★			15秒	
1-3 安否確認方法	○		<b>安否確認方法の案内/誘導</b> ・安否確認方法紹介/QR	注意音	○	日英	★	★			15秒	※1-2と分離 順番変えられるように
1-4 NHKニュース	○		<b>総合的な災害情報の提供</b> ・ピックアップニュース ・NHKプラス(未定)	あり?	なし	日のみ	● E	● E	● E	● E	60秒	実証:ピックアップニュース NHKプラス可継続検討
2-1 STOP一斉帰宅	○		<b>一斉帰宅抑制の呼びかけ</b> ・むやみな移動の抑制 ・もといた場所に戻ることを推奨	警告音	○	日英		★	★		30秒	
2-2 鉄道運行状況	○ 南海		<b>一斉帰宅抑制の呼びかけ/誘導</b> ・鉄道運行情報リアルタイム (RSS連携)	注意音	×	日のみ		★	★		15秒	※フォーマット合わせる 他鉄道会社継続協議
3-1 一時滞在施設		○	<b>一時滞在施設稼働状況の案内/誘導</b> ・位置情報 ・開設・受入状況(満/混/空) ・付帯機能(トイレ、言語、充電等)	注意音	○	日英			★		15秒	※誘導先確認 ※WEBサイト作成?
3-2 まちの最新状況		○	<b>帰宅困難者支援情報の案内/誘導</b> ・備蓄物資配布 ・使用できるトイレ	注意音	×	日のみ			★ 一括		15秒	WGメンバー投稿のみ 投稿規定/マニュアル作成
4-1 徒歩帰宅支援	○		<b>帰宅困難者NAVIの案内/誘導</b> ・徒歩帰宅ルート検索 ・トイレ、支援ステーション情報	注意音	○	日英				●	15秒	関西広域連合確認

# ミナミまち育てネットワークさま

2024.12.19

Shaping a New Journey



関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港 利用状況フラッシュレポート 2024年11月

3空港合計				
	発着回数 (回)	航空旅客数 (人)		
		総旅客数	出発便	到着便
合計	30,498 (+6%)	4,337,822 (+13%)	2,161,119 (+13%)	2,176,703 (+13%)
国際線	12,610 (+21%)	2,108,088 (+25%)	1,043,329 (+25%)	1,064,759 (+25%)
国内線	17,888 (-2%)	2,229,734 (+4%)	1,117,790 (+3%)	1,111,944 (+4%)

	KIX		ITAMI		KOBE	
発着回数 (回)	16,541	(+15%)	11,191	(-1%)	2,766	(-10%)
国際線	12,610	(+21%)	-	-	-	-
国内線	3,931	(-1%)	11,191	(-1%)	2,766	(-10%)
航空旅客数 (人)	2,664,050	(+19%)	1,374,212	(+6%)	299,560	(+4%)
国際線	2,108,088	(+25%)	-	-	-	-
国内線	555,962	(-1%)	1,374,212	(+6%)	299,560	(+4%)

\*1 ( )内数値は前年同期比

\*2 国際線旅客数は関西国際空港AODBを通じて入手している航空会社の搭乗旅客数データを基にしており、大阪出入国在留管理局関西空港支局の発表資料を基にした「利用状況」の国際線旅客数とは若干の差異があります。

\*3 当月に神戸空港にて国際線運航がありました。(4回)

【参考データ】関西国際空港 国際線旅客便 方面別分析 ※関西国際空港 AODB (Airport Operational Data Base) \*より

①方面別発着回数

(単位:回)

関西国際空港 国際線旅客便発着回数 方面別データ	2023年度						2024年度											
	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年度計			
中国	1,731 (36)	2,066 (40)	2,291 (42)	2,264 (66)	2,486 (66)	20,787 (41)	2,509 (65)	2,677 (67)	2,718 (70)	3,182 (76)	3,445 (81)	3,294 (78)	3,436 (79)	3,452 (72)	24,713 (73)			
香港・マカオ	1,014 (102)	1,086 (100)	1,042 (93)	1,112 (106)	1,158 (94)	10,896 (84)	1,087 (100)	1,095 (99)	1,111 (101)	1,189 (108)	1,213 (115)	1,092 (112)	1,142 (115)	1,045 (105)	8,974 (106)			
台湾	994 (87)	1,026 (88)	1,034 (88)	987 (88)	1,051 (88)	11,248 (82)	1,030 (91)	1,091 (95)	1,077 (102)	1,104 (101)	1,179 (101)	1,080 (94)	1,076 (90)	1,079 (95)	8,716 (96)			
韓国	2,887 (156)	3,125 (149)	3,090 (149)	2,873 (102)	3,161 (102)	33,482 (106)	2,921 (94)	3,077 (98)	2,944 (97)	2,982 (95)	2,970 (98)	2,941 (131)	3,142 (161)	3,076 (167)	24,053 (112)			
東南アジア	1,384 (83)	1,492 (86)	1,492 (85)	1,391 (98)	1,489 (91)	15,809 (78)	1,494 (89)	1,530 (88)	1,433 (86)	1,475 (86)	1,501 (85)	1,497 (89)	1,592 (93)	1,539 (92)	12,061 (88)			
ハワイ・オセアニア・グアム	233 (39)	252 (40)	256 (40)	260 (44)	290 (43)	2,686 (40)	283 (53)	290 (53)	284 (57)	287 (57)	307 (56)	279 (54)	287 (54)	270 (46)	2,287 (54)			
その他(北米・欧州・中東等)	309 (66)	336 (71)	358 (78)	322 (83)	434 (99)	3,814 (58)	482 (84)	543 (92)	545 (87)	604 (88)	620 (90)	567 (88)	542 (89)	411 (81)	4,314 (89)			
総数	8,552 (74)	9,383 (76)	9,563 (76)	9,209 (85)	10,069 (85)	98,722 (69)	9,806 (82)	10,303 (84)	10,112 (85)	10,823 (87)	11,235 (90)	10,750 (94)	11,217 (99)	10,872 (94)	85,118 (89)			

1.( )内数値は2019年2月から2020年1月までの同月別値。(30ヶ月前)

②方面別旅客数

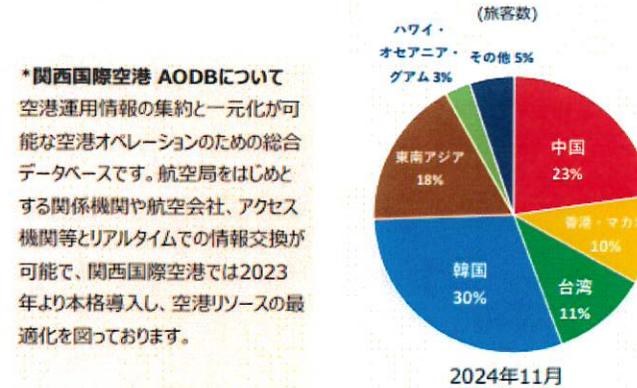
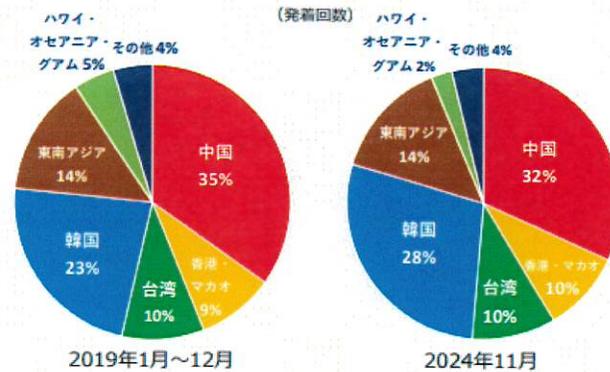
(単位:千人)

関西国際空港 国際線旅客便回数 方面別データ	2023年度						2024年度											
	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年度計			
中国	229	289	303	350	356	2,928	393	409	464	519	559	461	448	478	3,730			
香港・マカオ	208	225	185	212	234	2,238	211	216	235	269	266	184	223	219	1,822			
台湾	223	228	222	229	251	2,589	225	234	248	244	250	219	232	238	1,889			
韓国	585	611	594	581	631	6,505	562	593	567	549	526	533	624	635	4,588			
東南アジア	325	337	307	322	346	3,387	340	319	288	285	324	299	349	367	2,571			
ハワイ・オセアニア・グアム	47	49	46	51	61	508	48	51	56	53	64	57	60	62	451			
その他(北米・欧州・中東等)	70	67	59	63	102	887	114	126	130	147	160	144	150	109	1,080			
総数	1,687	1,806	1,715	1,807	1,981	19,042	1,893	1,947	1,987	2,066	2,148	1,896	2,086	2,108	16,132			

1.本データは、航空会社の提供旅客数データに基づいており、大府出入国管理庁関西空港支局の発表資料を基にした「利用状況」の国際線旅客数合計値とは若干の差があります。

2.関西国際空港 AODBは、2023年より本格導入しており、それ以前の方面別旅客数のデータはございません。

方面別シェア



\*関西国際空港 AODBについて  
空港運用情報の集約と一元化が可能な空港オペレーションのための総合データベースです。航空局をはじめとする関係機関や航空会社、アクセス機関等とリアルタイムでの情報交換が可能で、関西国際空港では2023年より本格導入し、空港リソースの最適化を図っております。